

究極の現場から

Professionalism と InterProfessionalism を考える —国際人道組織 ICRC の活動をシェアし語り合う



(c)ICRC/M. Succi

2014 年 3 月 8 日（土）10:00 ～ 17:00

於 京都大学総合博物館、百周年時計台記念館 2 階 会議室Ⅲ

対象：職業人・専門職者（領域は問いません）

定員：25 名

主催：関西 IPE 研究会

京都大学教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター
京都大学総合博物館

申し込み、問い合わせはコチラ< ipe2014ws@gmail.com>まで

※詳しくは裏面をご覧ください。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京都大学総合博物館
The Kyoto University Museum

究極の現場から Professionalism と InterProfessionalism を考える —国際人道組織 ICRC の活動をシェアし語り合う—

日時 2014年3月8日(土) 10:00～17:00 (開場: 9:30)

場所 京大総合博物館及び時計台記念館 2階

対象 職業人・専門職者(領域は問いません)

定員 25名

参加費 300円

主催 関西 IPE 研究会

京都大学教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター

京都大学総合博物館

概要

このワークショップは、戦地で国際人道活動を行う赤十字国際委員会(ICRC)の活動をシェアすることで、「プロフェッショナリズムとは何か」「インタープロフェッショナリズムとは何か」について参加者同士で考えていくことを目的としています。ワークショップの題材として取り上げるICRCの活動については、現在京都大学総合博物館にて、特別展示「戦場の『いのち』に寄り添う」<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/modules/special/content0040.html>が開催されています。(2014年3月30日(日)まで)

ICRCは、戦地などの「究極の現場」において、医療者、ジャーナリスト、法律家、教育者などと共に、戦争に関係ない住民の救援活動や人道教育活動をしてきました。ここでの異業種連携(Inter-professional)活動の一つの例に、学生指導や新人育成でも重要な(しかし、難しい!)プロフェッショナリズム/インタープロフェッショナリズムについて、様々な専門職の人たちと共に語り合ってみませんか?



(c)ICRC

話題提供者: 眞壁 仁美氏 (赤十字国際委員会 (ICRC) 駐日事務所 広報統括官)

コメンテーター: 村田 有佳子氏 (株式会社損保ジャパン)、**三原 華子氏** (サノフィ株式会社)

米田 光晴氏 (公益財団法人京都市ユースサービス協会 ユースワーカー)

プログラムコーディネーター: 渡邊 洋子 (京都大学教育学研究科 准教授)

柴原 真知子 (京都大学医学部医学教育推進センター 特定助教)

オブザーバー: 西平直 (京都大学大学院教育学研究科教授・臨床教育学)



申し込み方法

参加希望の方は、
<氏名(ふりがな)><ご所属><メールアドレス>
を記載のうえ、メールでお申し込みください。
申し込みをされた方には、プログラムのスケジュール
などを随時お送り致します。

<申し込み・お問い合わせアドレス>

ipe2014ws@gmail.com

本ワークショップに関するお問い合わせについても、
こちらのアドレスまでお知らせください。